

大船渡土木センター震災復旧・復興情報 かわら版

令和元年6月28日発行

<Vol.22>

派遣応援職員を対象とした見学会を開催しました！

県では、東日本大震災津波により甚大な被害を受けた陸前高田市の高田松原の再生や防潮堤の復旧、砂浜の再生、復興祈念公園の整備など多くの事業を行っています。6月13日に大船渡地区で勤務する他自治体の派遣応援職員を対象に、復興事業の進捗状況等を理解していただくことを目的として現場見学会を開催しました。

この見学会は、大船渡地域振興センター、大船渡土木センター、大船渡農林振興センターが共同で開催したものです。当日は約20人の参加をいただき、防潮堤の復旧事業や砂浜再生事業、復興祈念公園の概要などについて説明を行いました。



防潮堤・砂浜と復興祈念公園の説明

松原再生の説明



土木センターで対応した高田松原周辺事業の見学会で一般の方に参加していただいた人数
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで：約1,600人
平成31年4月1日から令和元年6月10日まで：約800人

□□ かわら版に関する問合せ先 □□

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター復興まちづくり課（分庁舎）

TEL：（本庁舎）0192-27-9919

（分庁舎）0192-26-1951

◇E-mail：BG0005@pref.iwate.jp

◇HPアドレス https://www.pref.iwate.jp/engan/ofuna_doboku/1014476.html

大船渡港茶屋前陸閘(3基)の水門・陸閘自動閉鎖システムの運用を4月に開始しました！

大船渡市大船渡町の大船渡港茶屋前地区の陸閘(3基)において、4月1日から水門・陸閘自動閉鎖システムの運用を開始しました。このシステムは、津波警報等が発表された場合に、衛星通信ネットワークによって、現地で人が操作することなく、安全かつ迅速に自動で水門と陸閘を閉鎖するものです。

水門は信号受信後すぐに閉鎖を開始しますが、大船渡港茶屋前地区の陸閘については、信号受信後にスピーカーや回転灯で周辺にいる人への避難の呼びかけを(5分間)行ってから閉鎖を開始します。

津波警報等が発令されたら、沿岸にいる人はすぐに海岸から離れて、市指定の避難時場所など安全な場所に避難してください。陸閘が動き始めた場合や陸閘が閉鎖して海側に取り残された場合には、付近に設置している階段から避難をしてください。

また、大船渡市越喜来地区海岸の水門(3基)も4月19日から運用を開始しました。



令和元年6月撮影



茶屋前3号陸閘(平成31年2月撮影)



位置図

□□ かわら版に関する問合せ先 □□

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター復興まちづくり課(分庁舎)

TEL:(本庁舎) 0192-27-9919

(分庁舎) 0192-26-1951

◇E-mail: BG0005@pref.iwate.jp

◇HPアドレス https://www.pref.iwate.jp/engan/ofuna_doboku/1014476.html

盛川の津波防御機能を発現！

災害復旧事業により整備を進めていた二級河川盛川の防潮堤整備について、一部（現在の道路部分）を除き、平成31年3月末をもって概成しました。

盛川は、大船渡市街地を貫流する河川であり、東日本大震災津波では、津波が河川を遡上し護岸・防潮堤が崩壊、流失し、広域的な地盤沈下により甚大な被害が発生しました。

今回整備した防潮堤の整備高さは、震災前の堤防高さT.P+3.4に対し、T.P+7.5mと嵩上げており、数十年から百数十年の頻度で襲来する津波が盛川を遡上しても、防潮堤から溢れさせない計画として整備を進めました。

また、防潮堤の天端道路は、河口付近からの佐野橋上流までの津波避難路の機能も有しています。

現在は、新しい川口橋に取付く道路工事を進めているところであり、今後、新橋への交通の切替を行い、旧橋の撤去を行った後、現在の道路部分に防潮堤を整備していきます。



□□ かわら版に関する問合せ先 □□

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター復興まちづくり課（分庁舎）

TEL：（本庁舎）0192-27-9919

（分庁舎）0192-26-1951

◇E-mail：BG0005@pref.iwate.jp

◇HPアドレス https://www.pref.iwate.jp/engan/ofuna_doboku/1014476.html

大船渡港永浜地区の防潮堤 7割が完成！

災害復旧事業により進めていた永浜地区の防潮堤、陸閘及び水門の工事が、平成31年3月末をもって完成しました。この工事の完了により、永浜地区の防潮堤計画延長のうち約7割（約1,077m）が完成したことになります。

永浜地区にはT.P+3.0mの防潮堤が整備されていましたが、東日本大震災では津波がこの防潮堤を越え、周辺に甚大な被害をもたらしました。

このため、防潮堤の復旧にあたっては整備高さをT.P+7.5mに上げ、津波に対する安全度を向上させることとして整備を行いました。

今後は、残る3割（約468m）についても早期完成に向けて取り組んでいきます。



平成31年3月撮影



平成31年3月撮影



☐☐ かわら版に関する問合せ先 ☐☐

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター復興まちづくり課（分庁舎）

TEL：（本庁舎）0192-27-9919

（分庁舎）0192-26-1951

◇E-mail：BG0005@pref.iwate.jp

◇HPアドレス https://www.pref.iwate.jp/engan/ofuna_doboku/1014476.html